

畜大だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

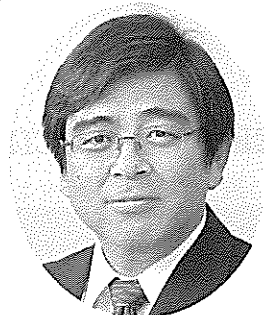
2012. 4. 1



目次

新入生諸君へ	学	長	長 澤 秀 行	1
課程・別科紹介	共同獣医学課程	教授	古 岡 秀 文	2
	畜産科学課程	教授	桑 山 秀 人	3
	別 科	教授	筒 木 潔	4
在 来 生 所 感	獣 医 学 課 程	2 年	鬼 窪 峻 大	5
	畜 産 科 学 課 程	2 年	金 子 哲 也	5
	畜 産 科 学 課 程	2 年	向 井 歩	6
	別 科	2 年	小 建 祐 輔	6
学 務 課 か ら	学位記並びに修了証書授与式が行われる			7
	飲 酒 について			8
	悪徳商法にご注意！			8
	交通事故の防止			9
	大学構内の交通規制等について			9

新入生諸君へ



「入学おめでとう」

学 長
長 澤 秀 行

帯広畜産大学に入学を果たされた皆さん、おめでとうございます。今、達成感や満足感を感じているとともに、これまで皆さんを支えてこられた、ご家族や恩師に対する感謝の気持ちも一杯のことと推察いたします。また、皆さんの心の中は、これから始まる大学生活に対して、夢、希望、期待等の気持ちとともに、新たな環境に対する不安の念を抱えていることと思います。

本学の前身である帯広高等獣医学校は、昭和16年に創立され、今年で71年目を迎えます。この間、昭和24年には学校教育法の改正による新制大学として帯広畜産大学畜産学部が設置され、獣医学科および酪農学科に計91名の入学者を受け入れました。その後、学科の新設あるいは再編を行い、平成20年度から教育課程制に移行しています。本年度から、新たに北海道大学獣医学部と連携して共同獣医学課程をスタートすることとなりました。

その他の教育課程としては、地域に密着した農学を学ぶことにより、地域社会の指導者となる農業後継者を育成することを目的として、昭和35年に別科（草地畜産専修）が設置されました。大学院に関しては、昭和42年に、先端的な学術知識を有する高度専門職業人養成を目的として、大学院畜産学研究科修士課程が設置され、平成18年には、BSEに端を発した食の安全に関する社会不安解消のために、我が国で唯一、食の安全確保を担う人材養成を目的とした、畜産衛生学博士の学位を授与する本学独自の大学院博士課程が設置され、現在に至っています。これらの教育課程を修了した同窓生数は約1万5千人となり、農業を中心とした、生命・食料・環境

の分野で、国内はもとより、世界中で多彩な活躍をしています。

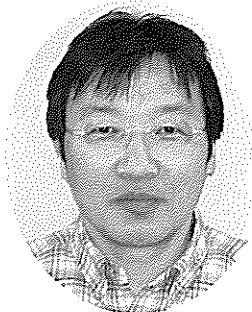
現在、食料生産分野に限らず、多様な分野において農業が注目され、21世紀最大の成長産業とも言われています。従って、農業を支える農学、畜産学、獣医学の学術貢献に対して、社会は大いに期待しています。農業が成長産業と言われる理由は、現代社会が抱えている地球温暖化、人口問題、食料安全保障、環境問題、エネルギー問題、感染症拡大などの「地球規模問題」と「農業」が密接に関連していることにあります。そこには、あらたなビジネスモデルの存在が示唆されているのですが、ビジネス以前の問題として、この地球規模問題の解決方策は、人類にとって喫緊の最重要課題であると言えます。

こうした世界情勢の変化と社会の期待に対して、皆さんがそれぞれ固有の目標を設定し、これからの学生生活において、生命・食料・環境分野の専門知識、社会に通用する教養、社会情勢の変化や諸課題に対応可能な応用力やコミュニケーション能力を身につけ、人間的に大きく成長されることを期待します。

皆さんの本学入学の動機は教育研究分野への興味、北海道への憧れ、動物が好き、実家から離れたい等々、いろいろあると思いますが、今一度目標を設定して有意義な学生生活を送ってください。すべての教職員は、皆さんが有意義な学生生活を送れるよう、支援を惜しみません。

最後に、皆さんが、初心を忘れず、志を高く持ち続け、日々学業と課外活動に全力投入して行動し、悔いを残さない充実した学生生活を送られることを祈念いたします。

課程紹介



教授
古岡秀文

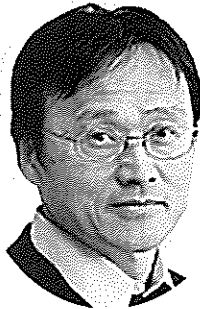
共同獣医学 課程

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
難関をくぐり抜けての合格、喜びを噛みしめつつ、
「獣医師になる！」という今の強い気持ちを卒業ま
で是非持ち続けてください。

今年度から北海道大学・帯広畜産大学共同獣医学
課程となり、皆さんはその第一期生ということにな
ります。これは獣医師に対する社会からの期待や要
請に対応するための措置で、畜大と北大がそれぞれ
強い分野を持ち寄り、世界にも通用する獣医学教育
カリキュラムを構築し、皆さんを国際的にも認めら
れる獣医師に育て、送り出そうとする新しい試みで
す。具体的には、BSEや新型インフルエンザとい
った国境を越えた動物由来感染症の拡大、自国のみ
ではまかないきれない食糧事情からくる食品の輸出
入の拡大、あるいは野生動物の保護を含めた自然環
境の維持といった、一国のみでは解決できないグロ
ーバルな問題に対応できる獣医師の育成です。別の
例としては、犬や猫といった伴侶動物に対する高度
獣医療への対応、診療業務から防疫、さらには食の
安全まで多様化する業務に対応するための産業動物
獣医師や公衆衛生獣医師の育成があります。皆さん
に対して、社会は自己中心的な獣医師ではなく、さ
まざまな社会的問題をも解決できる獣医師であるこ
とを期待しているのです。皆さんが修学する6年
間は長いようですが、実はこれらのためのカリキュ
ラムをこなすには相当タフでハードな学生生活が要
求されます。これが冒頭で言った「獣医師になるとい
う今の強い気持ちの維持」に結びつきます。

さて、最初からお祝い気分もぶっ飛ぶような話が
続き恐縮ですが、最近の獣医学課程の学生さんの現
状をお知らせします。現状の獣医学課程では3年生
から4年生になるときに留め置き制度があります。
これは3年生までに必要な単位数を修得していない
場合、あなたは4年生に進むことができません、と
いう制度です。この制度の対象者はこれまでほとん
どいなかったのですが、この3～4年ほどの間に対
象者が急増しています。これはどうしてか？一つに
は高校や受験勉強の仕方から大学での学び方への切
り替えができない学生さんが増えてきていることが
考えられます。大学では学問（体系化された知識と
方法）の修得は、自分で問題点を探し、自らがそれ
を解決するという、自立した学習態度が必要で、そ
れには多くの時間も必要であることを忘れないでく
ださい。臨床獣医師になりたいのに、いつまでたっ
ても基礎獣医科目ばかりでつまらない、と学生は言
います。臨床科目は基礎獣医科目を修めていない学
生には、猫に小判です。あなたが良い臨床獣医師に
なりたのなら基礎科目こそ頑張ってください。講義・
実習中の居眠り、遅刻なども多いようです。北大、
酪農学園大、畜大の三大学で獣医学関連の非常勤講
師をされていた先生が、畜大生のあまりの居眠りの
多さに激怒して、翌年から畜大だけ講師を引き受け
なかったということがありました。嘆かわしい話で
すが、これが現状です。畜大生としての自覚をもち、
畜大生であることに誇りが持てるよう、広大な北の
大地・十勝で充実した学生生活を送ってください。

課程紹介



教授
桑 山 秀 人

畜産科学 課程

新入生のみなさん、入学おめでとう。また、君たちを育ててくれた両親をはじめ周りの人々にも心から祝意を表します。昨年、我が国は東日本大震災に見舞われたことから、不安、戸惑い、そして苦闘は例年よりも大きかった。その苦難のなかで栄冠を勝ち得た君たちは、今、安堵の境地にあると思います。生涯に係る志を立てて、その希望がかなえられることは一生の中でも多くはないのだから、本当に喜んで良いです。君たちの中の何人かは心ならずも畜産科学課程に入学したという者もいるかもしれない。そんな諸君も心機一転、広く世界を見渡し、晴々した顔で出発点に立って欲しいです。晴々とした進取の気持ちをじっくりと噛みしめて、これからの学生生活の原点とすることがとても大切です。君らの眼前の広々と開けた十勝の大平原にも、高低の起伏は当然あります。これからの学生生活で、いろいろと迷うとき、悩むとき、挫けそうなときは、原点に立ち返って気分を取り直し、勇気を奮い起こして下さい。

君たちの今の栄冠は、自身の努力の賜であることは言うまでもありません。しかし、一方、君らを支えてくれる両親や周りの人達がもたらしてくれる環境にも感謝の念を寄せることが重要です。今回は志の実らなかった学友や、進学を諦めざるを得なかった仲間にも、思いを馳せて下さい。彼らの多くは、君らと大差がないか、あるいは違う長所がある人達であり、ただ運とか縁が対応しなかっただけです。その人達の心情を思っ、君たちはその分も切磋琢磨して下さい。これから卒業まで、自分の意志で自分のために時間を使うことが許される環境を「ありがたい」と感じ、また、「すまないな」と思いやることは優秀な学生になるための第一歩です。

何事も最初が大切です。来年、君たちは自分の進むユニット（生命科学、家畜生産科学、食品科学、環境農学、農業経済学）を選択します。入学を機にもう一度、各自がなぜ農学徒の道を選んだかを考え、卒業するときどのような自分になりたいのか、目標を見定めて下さい。畜産科学課程は、農畜産学および環境生態学に関連する学問の教育や研究のために備えており、これほどの好適条件をそなえた大学は全国他に類がないということも考えて下さい。御存知でしょうが、いま日本は環太平洋戦略的経済協定（TPP）の参加是非が問題となっており、食糧自給率のさらなる低下が危惧されています。また鳥インフルエンザや口蹄疫などのグローバルな家畜伝染病への対策に追われ、さらには原発事故による放射能汚染が安全な食料に対する脅威となっています。君たちが社会で活躍する四年後も、これら諸問題は未解決と予想されます。従って、農学に対する世間の期待は大きく、「学びがいのある農学の時代」となっています。これから農学を修める者は深い教養を身につけ、哲学的、科学的な考え方に立った広い視野を持つことが要求されます。

専門知識を取得することはこれら諸問題の解決に必要です。しかし、それは卒業後も続けられるものです。困難な問題を積極的に追求するうえで最も大切なことは、気力に溢れた愛情と素朴さを持ち、教養豊かで人間味のある健康な青年を目指すことです。精神と肉体の両方の健康が重要であることを忘れてはなりません。そして、部活動で苦勞することも、精神的肉体的に自身を鍛える方法の一つです。若い人々は自分自身のために切磋琢磨し、たくましい人間になって下さい。青春の学生時代の日一日を大切に過ごして下さい。

別科紹介



教授
筒 木 潔



別科の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

別科は、農業後継者の養成を目的として1960年に設置され53年目を迎えました。現在、国立大学法人のなかで2年制の農学系別科が残っているのは、帯広畜産大学と千葉大学のみとなりました。これは、日本の食料基地としての道東地域において、本学別科による農業後継者教育に大きな期待が寄せられていることと、本学別科が優秀な卒業生を継続して送り出し、それらの方々が農畜産業のリーダーとして活躍しておられることの成果にほかなりません。別科教育は、本学にとっても教育成果を直接地域の農業に反映させることができる貴重な手段です。別科と別科生は帯広畜産大学の宝だと思っています。

別科教育の特徴は、農業後継者の教育支援を目的としているために、農畜産業の現場に対応した実学を重視していることです。そのために畜産学部（共同獣医学課程および畜産科学課程）と畜産フィールド科学センターの教職員も含めて、全学をあげて支援する体制を整備しています。具体的には、基礎としての自然科学、人文・社会科学、英語、体育から、専門の畜産関連教科、草地学、飼料学、土壌作物栄養学、食糧科学、農業機械学、農業経済・経営に関する様々な教科を学ぶと同時に、それらの科目に関連した実習を行います。また、所定の科目を履修し単位を修得すると、「家畜人工授精師（牛）」と「認定牛胴蹄師」の資格が取得できます。

これらの科目にあわせて、1年生の「夏季農家実習」では、実際の農家に3週間にわたって宿泊し、農家の作業を体験します。この実践的実習を通して、

農業経営や農畜産業の現状について理解を深めます。また、2年生になると「特別実習Ⅱ」として夏季に3泊4日の研修旅行を行います。研修旅行では北海道内の特色ある農家、あるいは農業試験場や農業関連施設などを見学して、農畜産業についての知見を広めます。さらに2年生の総合実習科目として行う「特別研究」では、興味を同じくする学生でグループを作り、自分たちで研究課題を探究し、実験の計画を立案し、データを収集し、結果を分析して論文に取りまとめます。ここで得られた研究成果については、特別研究発表会で口頭発表したうえで、「草地畜産専修報告」に掲載します。これら一連の作業を完成させるまでにほぼ1年をかけます。この期間に仲間同士の相互理解を深め、さらに協調性、創造性、論理性など、社会人として生きていくために必要な素養を身につけます。

このように、別科教育の内容は盛りだくさんでかつ充実しており、さらに本学の全分野の教員から指導してもらえることが特徴です。しかし残念なことに、別科で学べる期間は皆さんにとって2年間しかありません。この短い期間を無駄にせず、少しでも多くのことを学びとってもらえるよう皆さんの頑張りに期待します。

混沌として先が見えない日本の農畜産業の現状を打開するには皆さんの情熱と知識が必要です。別科での2年間は自分の才能を開花させるための重要な準備期間にあたります。皆さんの多くの先輩のように、北海道と日本の農畜産業のリーダーをめざして、有意義な学生生活を送ってください。



獣医学課程 2年
鬼窪 峻大

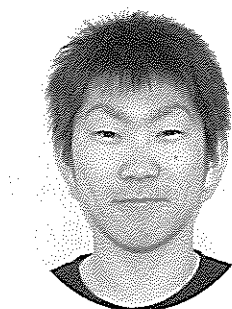
新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんは、どのような気持ちで畜大にきましたか。1年前、私は馬の獣医師になりたいという夢・目標を抱いて入学しました。夢が私を神奈川から北海道まで連れて行ってくれました。皆さん様々な思いをお持ちでしょうが、それを大切に、支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに日々をお過ごしください。

私にとってこの1年はあっという間でした。あっという間でしたが、とても充実していました。馬に

触れたい一心で馬術部に入部し1年中、馬に囲まれて過ごしました。朝早起きして、馬に乗せて頂き夕方も手入れをする。まさに、入学前から描いていた北海道・牧場 LIFE!!! The 北海道 / The 畜大生 / な生活が送れて大変良かったです。

北海道といえばゴールデンウィークに雪が降り、驚くとともに気持ちの高ぶりを隠せませんでした。しかし、これは序の口でした。冬になると畜大生必須の自転車が漕げないどころか、歩けない程の積雪、朝は氷点下30℃を超える日もありました。先輩方から「冬はやばい、やばい」と散々言われていましたが、想像以上でした。「冬は、やばいです！」覚悟しててください。

最後になりましたが、大学生活はとても自由です。だからこそ、頭の中で描いているものを実行しましょう！トライしましょう！何にでも挑戦しましょう！皆さんの学生生活が有意義なものになるよう心よりお祈り申し上げます。



畜産科学課程 2年
金子 哲也

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！自分が帯広畜産大学に入ってから1年たったかと思うとあっという間の1年間でした。大学生は高校生の時とは比べものにならないくらい楽しいものです。「パラダイス」です。

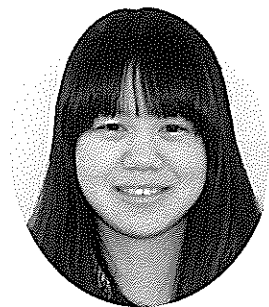
やはり大きく違うのは「自由」の量です。勉強が中心であった高校時代ですが、大学では勉強の他にも、アルバイト、部活などやりたかったけど出来なかったことを沢山することが出来ます。それには高校生の時に無い責任も伴いますが、充実のさせ方は自由です。

道東エリアには「インディアン」というそれはそれは美味しく、中毒性のあるカレー店があります。（個人的なオススメはカツチーズです。）インディアンは各店舗で味などが微妙に違うのですが、畜大から一番近い「みなみ野店」が一番美味しく、畜大生である上でとてもいいことの一つであると思います。

また、帯広は公共の交通機関が少ない為、他の大学ではなかなか考えられないような話ですが車を持っている人が大勢います。車を持てば生活・自由の幅が大きく広がります。持つからこそお金等の面で問題となることもあると思いますが、畜大に入学したのであれば車を持つことをオススメします。

畜大は学生に占める寮暮らしの人の割合が多いと思います。かくいう僕も寮に住んでいます。寮で大学生活を過ごすことはこれからの人生に大きくプラスになることが沢山あると思います。そしてやはり楽しいです！

他にも畜大に通う大学生活では畜大ならではのことで、楽しいこと、等沢山あります。頑張って受験勉強して入学した分、大学生活を充実したものにしていてもらいたいと思います。



畜産科学課程 2年
向井 歩

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。これからの生活に期待と不安で胸が一杯なのではないでしょうか。私もそうでした。大学生活は「人生の夏休み」と言われます。勉学に勤しむもよし、バイト三昧でもよし…。どうすごすかはあなた次第です。

畜大生活における一年間のポイントを挙げてみました。春。構内をちょろちょろするエゾリスやフィールド科学センターの牛など、とりあえず近くにいる動物を珍しがる。夏。感動するぐらい涼しいにもかかわらず道民が溶けているのを内地（本州の意）人は驚く。秋。「いつ来た!？」というようにあっと

いう間です。リスがどんぐりをかじっているイメージですが既に寒い…。冬。スケートリンク化した道路には気のつけようがありません。内地人が横滑りするのを見て道民が馬鹿にしてくれます。泣。

さて、そんな畜大ライフですが、もっと楽しくしたい人は何か部活やサークルに入るのがいいと思います。かく言う私もExclamationNというYOSAKOIソーランのチームに所属しています。夏の北海道・札幌をさらに熱くするために日々練習を重ねています。地元十勝はもちろん宮城県仙台市など、地方遠征にも出かけたりしています。日曜日の深夜（もはや月曜日の明け方）に帰ってきて、次の日一講目から授業ということも…。でも、私たち大学生は若さがとりえみたいなものです。ボロボロになるまでやりきることって社会人になるとあまりないと思います。4年後、充実した大学生活だったなあと思えるように今のうちに、やりたいことは何でもやっていきましょう!!



別科 2年
小建 祐輔

農業についての知識を蓄えたい。そして、将来に生かしていきたい。そう思い畜大に入学し1年が経過しましたが、本当にあっという間の時間でした。そんな1年でしたが、振り返って見ると、充実した日々を送ることができたのではないかと思います。

別科は2年しかありません。なので、この2年間でいかに充実して過ごせるかが大学生活を楽しんでいくうえでの鍵となると思います。遊ぶことも考えつつ、2年間しか無いので取れる講義は取得して計画的に過ごしましょう。

別科の授業内容は、前期には畜大の畜産フィール

ド科学センターにて農場実習を行ったり、十勝管内の施設や農場などの見学研修をします。更には、夏休みを利用して夏季農家実習を行います。どの内容も、今までに無いような経験をすることができます。特に夏季農家実習では、農家の方々と仕事や生活を共にすることで農家の知識をより深めることができ、貴重な体験もすることができます。また後期は、講義の科目数が豊富なため、酪農についての知識をたくさん学ぶことができます。

十勝の農業がとても盛んなので、搾乳バイトや畑作バイトもたくさんあります。個々の農家さんの農場に行ってアルバイトをすることで、授業では習えないことや人との出会いなど得るものがたくさんあります。

また、畜大には様々な種類のサークルがあります。ぜひサークルに参加して、多くの人と交流して楽しい生活を送ってください。

新入生の皆さん、人との出会いやつながりを大切にして、これからの2年間の大学生活を有意義に送ってってください。

学位記並びに 修了証書授与式が行われる



去る3月19日(月)午前10時から本学講堂において平成23年度学位記並びに修了証書授与式が行われました。

式典に先立ち恒例であるマンドリンサークルによる演奏が行われ、多数の家族および教職員が見守る中、長澤秀行学長から獣医学科、畜産科学課程、別科、専攻の代表に学位記並びに修了証書が授与されました。引き続き学長の告辞の後、来賓の由佐壽朗 同窓会会長から祝辞があり、帯広畜産大学逍遙歌が流れる中、式が終了しました。

式が終了すると、少し緊張気味だった卒業・修了者達は、早速会場を後にしました。

外では、先輩の晴れ姿を祝おうと、花束を渡し大学生活の思い出話やサークル活動の苦勞話に華を咲かせていました。

本年度は、学科・課程合わせて246名、別科（草地畜産専修）19名、大学院各専攻合わせて59名の合計324名が、畜大での思い出を胸に社会へ巣立っていきました。



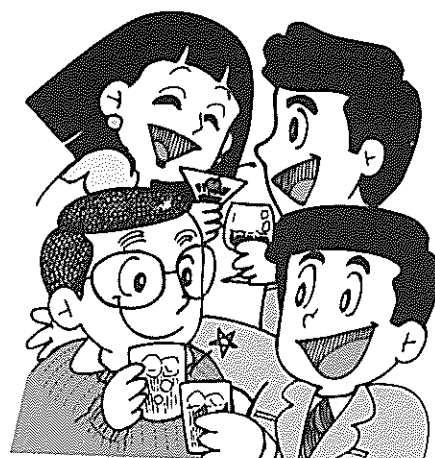
☆ 飲酒について ☆

本学では未成年者の飲酒は、いかなる場合であっても禁止しています。また、未成年者への酒類の提供、飲酒の強要も禁止しています。

コンパ等で飲酒を強要された時は、未成年であることを伝え、はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた。断れず仕方なく飲んでしまった。等の事実があった場合は、学務課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も、下記のことに留意し、楽しく飲むよう心がけてください。

- 自分の適量を守る
- 周りに煽られても一気飲みをしない
- 飲酒後は車の運転をしない



☆ 悪徳商法にご注意! ☆

(大学生は狙われています)

大学生は、社会との関連も深まり、経済活動範囲も広がりますが、社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり、学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入、アパートの入居等、他人と契約する時は、事前に十分検討し、保護者等に相談したうえで行ってください。

万一、被害に遭った(思われる)場合は学務課に連絡してください。相談できる機関等を紹介します。

特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

- ワンクリック請求 (パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する)
- 無料商法 (無料であることを強調して勧誘し、商品等を契約させる)
- デート商法 (間違い電話、メール等で販売目的を隠して近づき、巧みな話術で好意を抱かせ、それに付け込んで商品等の契約を行わせ、その後行方をくらます)
- マルチ商法 (加盟者が新規加盟者を誘い、その加盟者が別の加入者を誘うという連鎖により組織を各大し、新規加入者や配下の加盟者の支払う加盟料、商売上により自分の利益が増える仕組み。加盟者を勧誘できず、商品は売れず、損することが多い)
- キャッチセールス (繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け、事務所等に連れて行き、不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる)
- アポイントメントセールス (抽選に当たった、モニターに選ばれた、などと販売目的を明らかにしないで、事務所等へ呼びだし、契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る)

☆交通事故の防止☆

本学に入学し、通学等のため運転免許の取得、車の購入を検討されている方もいることと思います。

帯広は北海道東部に位置し、周辺の道路は直線区間が多く、春～秋の期間は北海道らしい景色の中、快適なドライブを楽しむことができます。また通行車両も少ないためスピードを出しがちです。

しかし、冬期間はアイスバーン（スケートリンク）状態になり、冬道の運転に慣れているドライバーでも時には事故を起こすほど非常に危険です。

車を運転する時は、常に道路状況に合わせた安全運転に務め、事故の当事者にならぬよう気をつけてください。

本学では交通三悪（飲酒運転、無免許運転、大幅な速度違反）により事故を起こした場合には、厳しい処分が課されます。

また、事故の加害者になった時は、下記の処分等を受けることになります。

- 精神的苦痛
- 刑事処分（懲役等の実刑、罰金）
- 行政処分（免許取消、停止）
- 大学からの処分（除籍、停学）
- 被害者への補償（後遺症等に対する経済適補償）



☆大学構内の交通規制等について☆

通学での自家用車及びバイクの利用については、交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として、一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には、徒歩、自転車、又は公共交通機関の利用を勧めています。

自家用車・バイクで通学する場合は、事前に「駐車場使用許可申請書」を学務課に提出し「駐車場許可証」の交付を受けてください。「駐車場許可証」のない車で学内に駐車すると、違法駐車車両としてタイヤロックされます。

また、本学学生による不法駐車に対する市民からの苦情が多く寄せられます。アパート等に隣接する民家への無断駐車、路上への違法駐車は警察に検挙されますので、帯広畜産大学の学生として、良識のある行動を取るよう心がけてください。

※「駐車場許可証」の交付には、一定の条件がありますので学務課で確認してください。